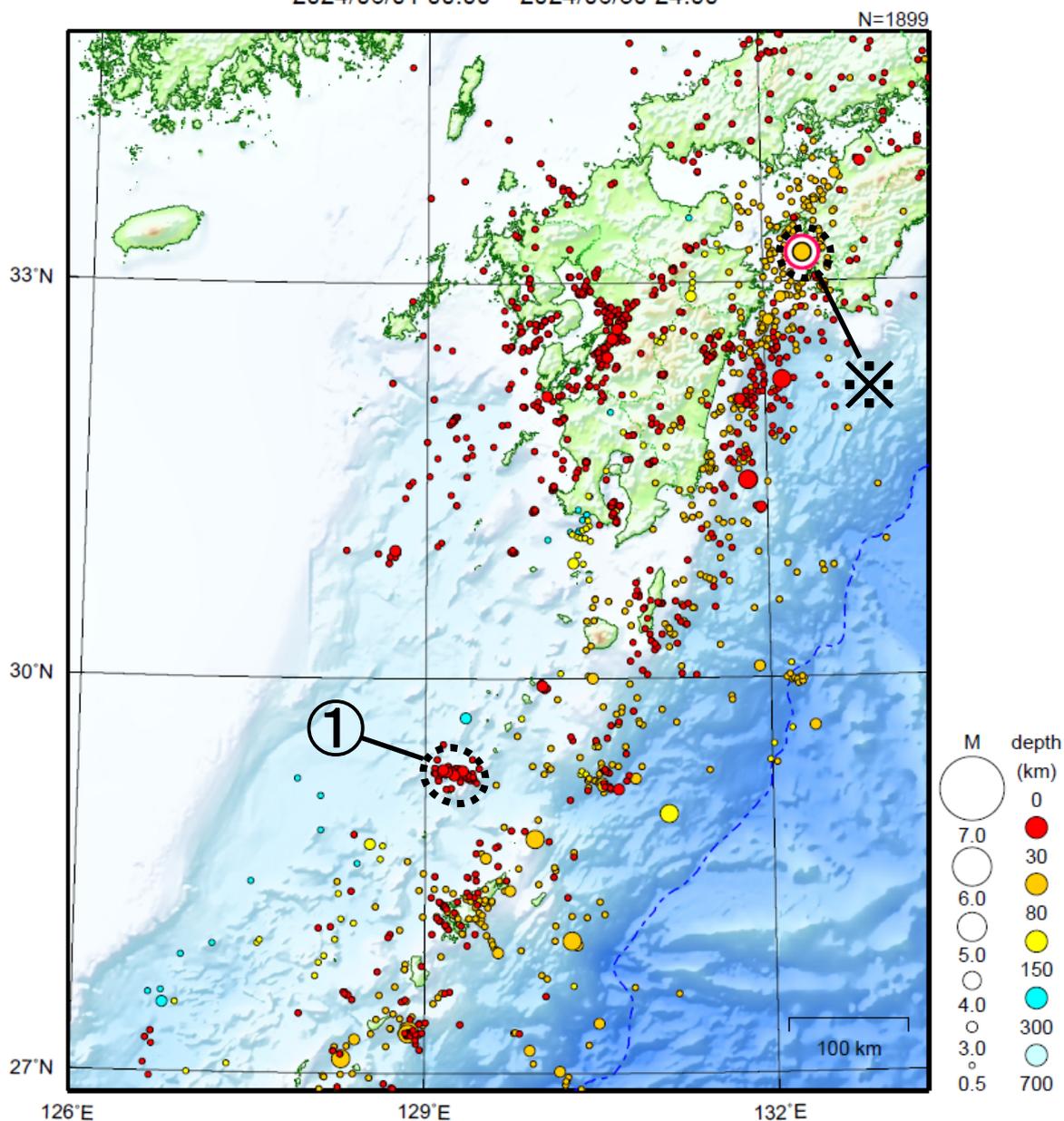


九州地方

2024/06/01 00:00 ~ 2024/06/30 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

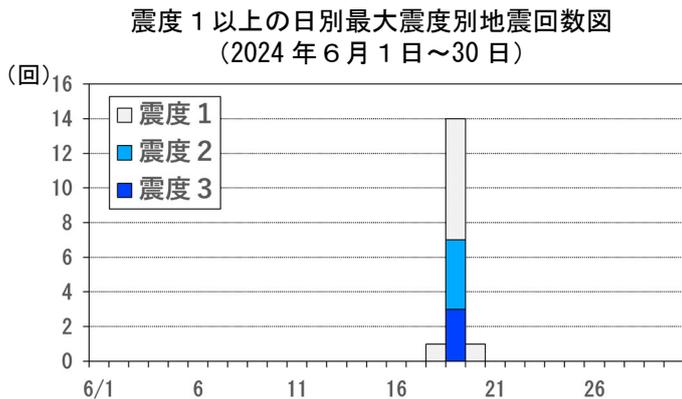
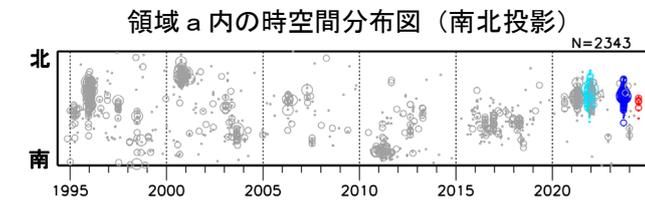
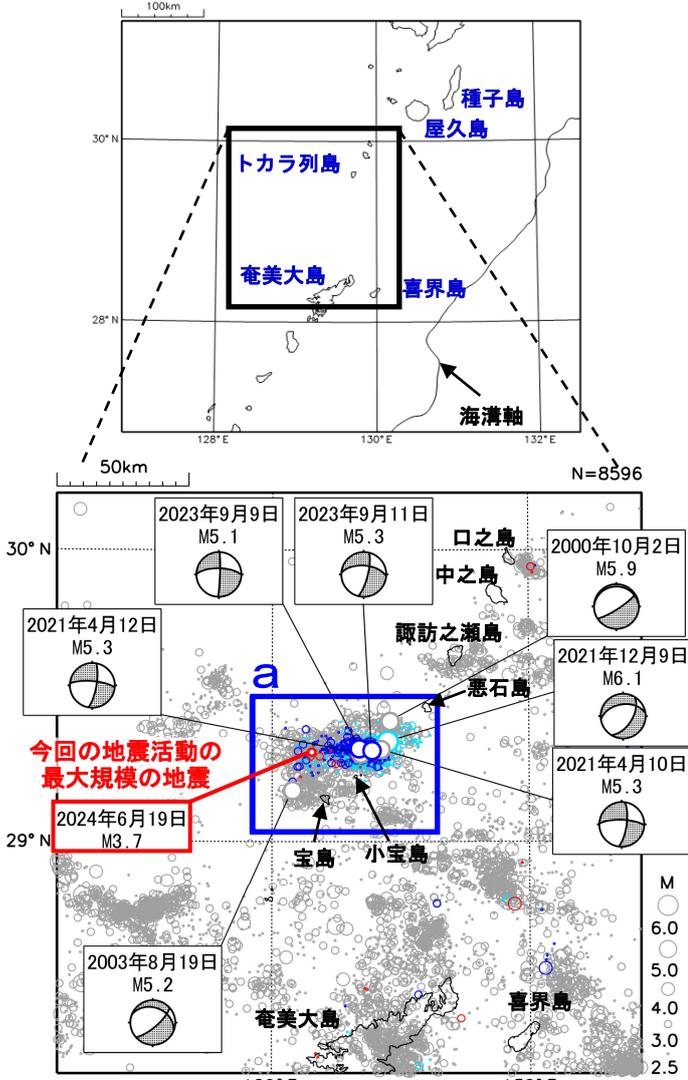
- ① トカラ列島近海（小宝島付近）では、6月中に震度1以上を観測した地震が16回（震度3：3回、震度2：4回、震度1：9回）発生した。このうち最大規模の地震は、6月19日16時16分に発生したM3.7の地震（最大震度3）である。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近）

震央分布図
 (1994年10月1日～2024年6月30日、
 深さ0～50km、 $M \geq 2.5$)
 2021年12月の地震を水色○で表示
 2023年9月の地震を青色○で表示
 2024年6月の地震を赤色○で表示
 図中の発震機構はCMT解

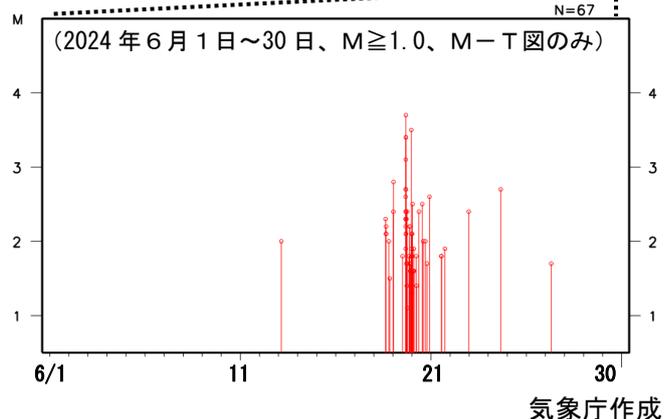
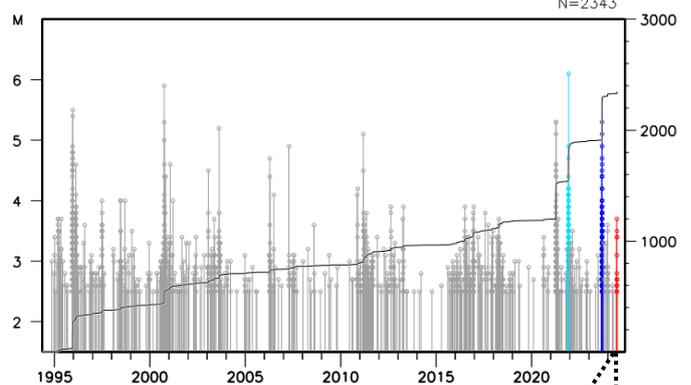


2024年6月18日15時頃から20日にかけて、トカラ列島近海(小宝島付近)でややまとまった地震活動がみられた。この期間、震度1以上を観測した地震は16回(震度3:3回、震度2:4回、震度1:9回)発生した。このうち最大規模の地震は、19日16時16分に発生したM3.7の地震(最大震度3)である。今回の地震活動は陸のプレート内で発生した。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震活動付近(領域a)では、時々まとまった活動がある。最近では、2023年9月に地震活動が活発となり9月30日までに震度1以上を観測した地震が346回(震度4:2回、震度3:25回、震度2:82回、震度1:237回)発生した。このうち最大規模の地震は、9月11日に発生したM5.3の地震(最大震度4)である。また、2021年12月9日に発生したM6.1の地震(最大震度5強)を最大とした活発な地震活動(震度1以上を観測した地震が月末までに308回)により、鹿児島県十島村(悪石島)でがけ崩れなどの被害が生じた(被害は鹿児島県による)。さらに、2000年10月2日に発生したM5.9の地震(最大震度5強)を最大とした活発な地震活動では、鹿児島県十島村(悪石島)で水道管破損1箇所などの被害が生じた(被害は総務省消防庁による)。

今回の地震活動と過去の主な地震活動について、活動期間ごとに120日間の期間で比較すると多様な活動の形態が見られる(次ページ参照)。この地域の地震活動は、活発な期間と落ち着いた期間を繰り返しながら継続することが多く、個々の地震活動の終わりの時期を特定することが難しい。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

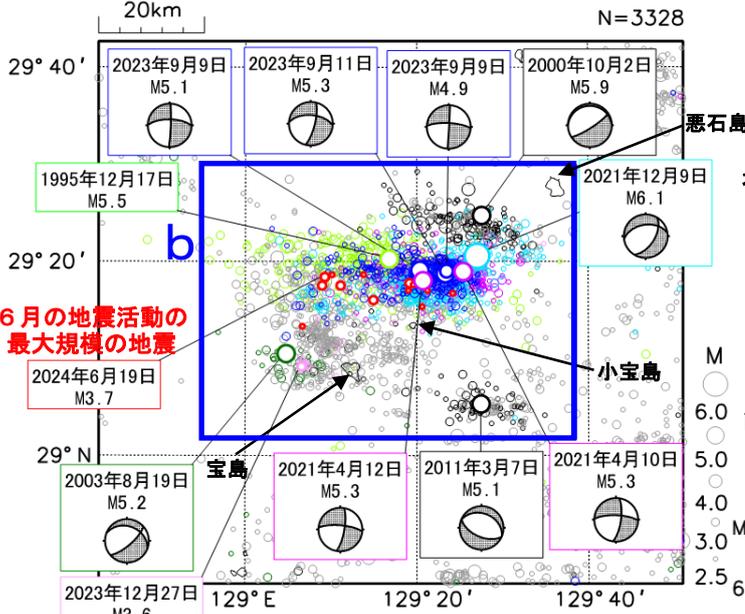


気象庁作成

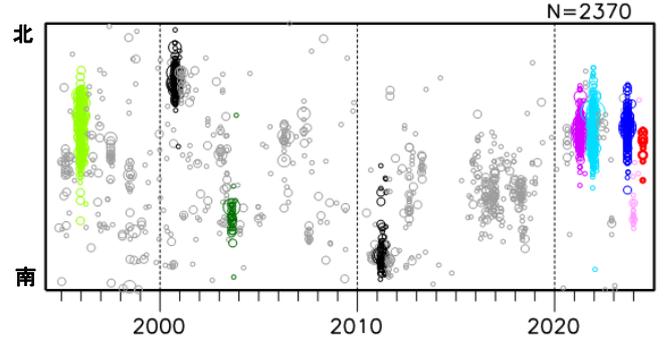
トカラ列島近海の地震活動（悪石島・小宝島・宝島付近） 過去の活動状況との比較 M2.5以上、120日間

震央分布図

(1994年10月1日～2024年6月30日、深さ0～50km、M \geq 2.5)

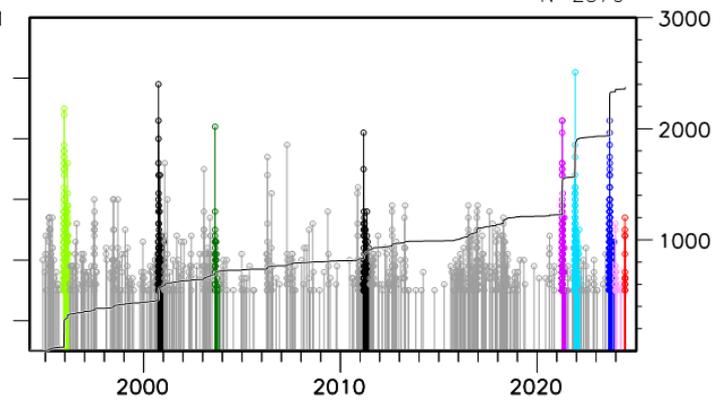


領域b内の時空間分布図（南北投影）

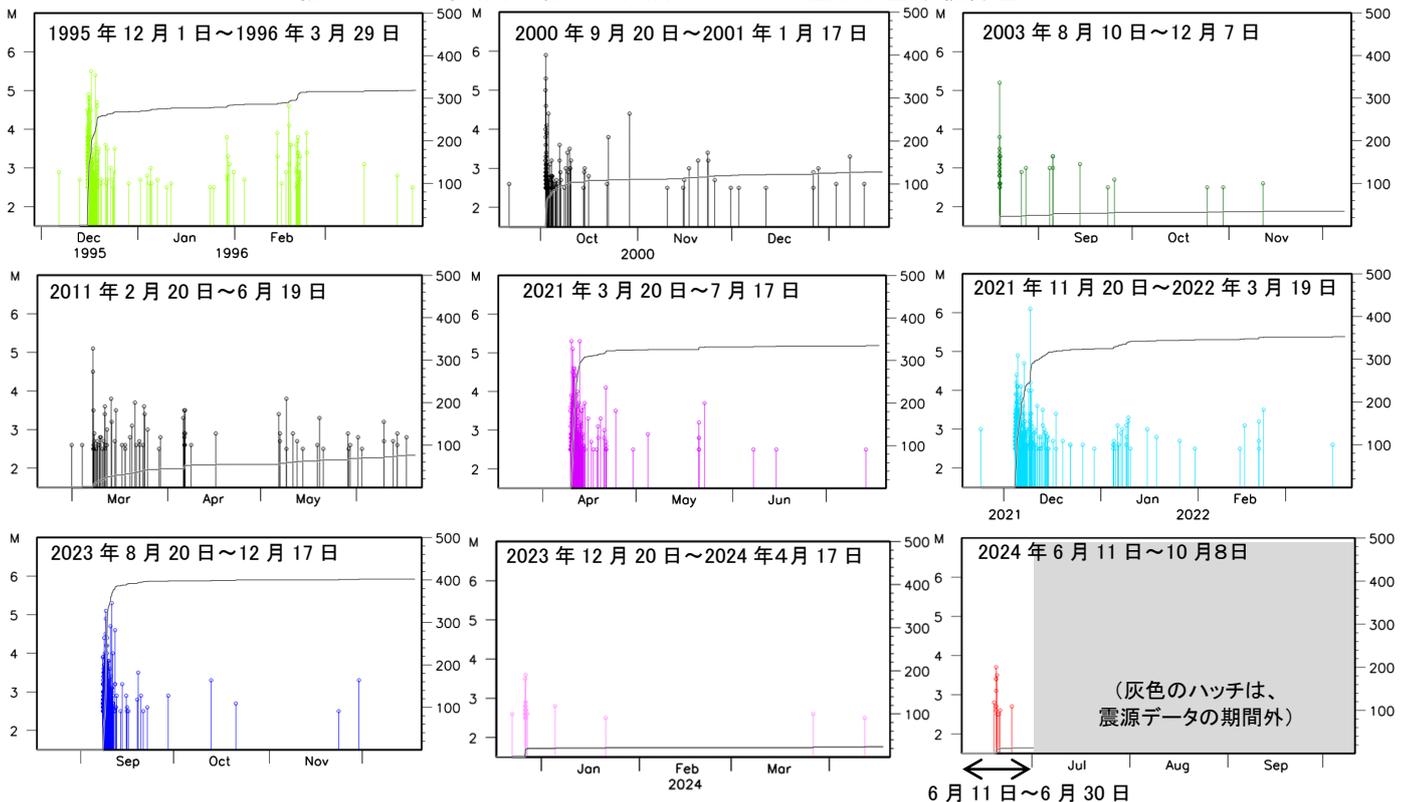


主な地震活動の期間別（今回の活動以外は各120日間）の色分け

- ・1995年12月1日～1996年3月29日：黄緑丸
- ・2000年9月20日～2001年1月17日：黒丸
- ・2003年8月10日～12月7日：緑丸
- ・2011年2月20日～6月19日：黒丸
- ・2021年3月20日～7月17日：紫丸
- ・2021年11月20日～2022年3月19日：水色丸
- ・2023年8月20日～12月17日：青丸
- ・2023年12月20日～2024年4月15日：桃色丸
- ・2024年6月11日～6月30日：赤丸
- ・上記期間以外：灰色丸



領域b内の期間別（各120日間）のM-T図及び回数積算図



気象庁作成

